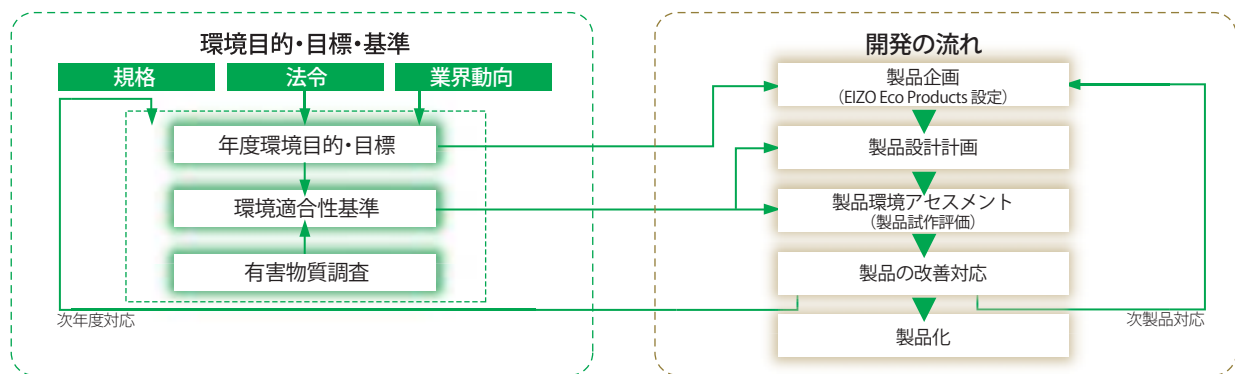
ナナオ製品の品質と環境への取り組み

製品開発の基本フロー

当社では、製品における各種法令・規制への対応を含めた環境配慮の向上を目指し、国内外の法令・規格、業界動向を考慮の上、予め定めた自社独自の「環境適合性基準」に基づいて、各製品に関する環境適合性評価(製品に対する環境配慮の度合いを評価)を実施しています。その結果、要改善と判断された項目については、その対応措置を明確にするとともに、年度末には翌年の環境目的・目標の決定に反映しています。

また、環境目的・目標に掲げられた項目のうち、重要なテーマは「EIZO Eco Products 200X」(200Xは制定年度を意味します)に盛り込み、製品の環境配慮への対応をアピールしています。

なお、「環境適合性基準」は、100項目以上のチェック内容があり、法令・規格・業界動向等の変化に対応するため、毎年改訂を行なっています。

EIZO Eco Products 2006/2004

当社は、TCO' 03、PCグリーンラベル、PCリサイクルマーク等環境配慮規格や法令への対応を行なっていますが、第三者の規格取得のみならず、当社独自の環境ラベル「EIZO Eco Products 2002」を2002年10月に制定しました。その後「EIZO Eco Products 2004」を経て、2006年6月より「EIZO Eco Products 2006」(以下EEP06と表記、マークは右図)として展開しています。このEEP06は今年7月に発効された欧州のRoHS指令等の新たな環境配慮に関する法規制を踏まえ、また、環境の基本コンセプトである３Rおよび省エネルギーの考え方を軸に制定しました。(詳細は当社ホームページをご覧ください)。

「EIZO Eco Products 2006/2004」認定要項

番号	要　項	2006	2004
①	電源オフ時の消費電力が1W以下であること※「電源オフ時」:手動で電源スイッチを切った時	○	○
②	省電力モードの消費電力が2W以下であること※省電力モード」:PCやモニターの設定により自動的に移行する省電力状態	○	○
③	再生プラスチックを採用していること(部分的な採用を含む)	○	○
④	クロムフリー鋼板を採用していること(部分的な採用を含む)	—	○
⑤	取扱説明書に無塩素漂白された再生紙が使用されていること	○	○
⑥	鉛フリーはんだ(無鉛はんだ)を採用していること(部分的な採用を含む)	—	○
⑦	製品外部ケーブル(付属ケーブル)に鉛フリー電線を採用していること	—	○
⑧	製品に付帯する印刷物に大豆油インキ(Soy Ink)を使用していること(部分的な採用を含む)	○	○
⑨	梱包用クッション材に再生発泡スチロールまたは紙製クッションを使用していること(国内向け仕様のみ)	—	○
⑩	環境適合性基準に基づき製品アセスメントを実施していること	○	○
⑪	植物原料プラスチックを採用していること(部分的な採用を含む)	○	—
⑫	梱包用クッション材に再生発泡スチロールまたは紙製クッションを使用していること(海外向けにも採用)	○	—
⑬	JEITAパソコンに関するVOCガイドラインに適合していること	○	—
⑭	RoHS指令に適合していること(国内向け液晶TV製品は、J-Mossグリーンマーク適合	○	—

環境ラベリングに対する取り組み

環境規制対応製品やその関連媒体にラベル表示する制度を通常「環境ラベリング制度」と呼んでいます。

ISO14020では、これを次の3種類に分類しており、当社では、タイプⅠ、タイプⅡを表示しています。ここでは、これらの環境ラベリングに関する取り組みについて紹介します。なお、「EIZO Eco Products 2006/2004」は、タイプⅡに分類されます。

環境ラベルタイプ

環境ラベルタイプ	規格名	環境ラベルの特性
タイプ Ⅰ	ISO14024	環境に対する配慮が一定基準を満たしていることを第三者が審査しマークの使用を許可するもの。
タイプ Ⅱ	ISO14021	企業が独自の基準で製品(サービス)の環境に関する主張を行なうもの。 これは、自己宣言型のラベルと呼ばれ、主張する内容は各企業・団体の独自の判断に任せられている。
タイプ Ⅲ	ISO14025	製品の環境特性をLCA的な定量的データとして開示するもの。 開示されたデータをお客様自身が判断できる点が、タイプⅠ、Ⅱと大きく異なる。

TCO'03 / TCO'99

▶[タイプⅠ]

当社製品における環境への取り組みは、主にヨーロッパにおける環境規格への対応により推進しています。その対応の原点となったのが、スウェーデンの規格TCO'95であり、その後TCO'99、TCO'03とバージョンアップされ、現在に至っています。この規格は、環境に関する要求事項に加え、安全性、電磁波、エルゴノミクス他の要求事項も盛込んだ、言わば総合規格の性格を持っています。TCO'03規格策定時には策定検討フォーラムに参加し、2003年1月には同規格の認定を世界で初めて取得しました(当社を含め同時に4社15機種が取得)。当社はこれまでに、当規格の対象となるほぼ全てのモニターでTCO規格を取得しており、今後も当社製品において重要な規格と位置付け、この方針を継続します。

PCグリーンラベル

▶[企業審査:タイプⅠ、製品審査:タイプⅡ]

(社)電子情報技術産業協会(JEITA)により、2001年に、日本国内のコンピュータ(モニターを含む)に対する環境ラベル制度としてスタートしました(現在は有限責任中間法人パソコン3R推進センターが運営)。本制度のコンセプトは、①環境配慮設計・製造、②使用後の引き取り・リサイクル等への配慮、③環境情報開示　の3点から構成されています。

当社では、委員として規格のバージョンアップ検討にも参加するとともに、対象となる製品については積極的に取得を推進しており、今後も引き続き認証を取得していきます。

エナジースターおよび国際エネルギースタープログラム

▶[タイプⅠ]

1993年からアメリカの環境保護局(EPA)が、コンピュータ関連機器の消費電力を抑制するために始めたプログラムがエナジースターです。日本では、日米政府の合意に基づき、国際エネルギースタープログラムとして1995年より実施されています。

当社は、本プログラムの開始当初からこれに賛同し、モニターとしてはエナジースターの登録第1号となっており、以後ほとんど全ての製品がこれに登録されています。

本規格は昨年改訂され、2段階に分けて基準が厳しくなることになり、2005年1月よりまず第1段階が実施され、2006年1月にはさらに厳しい第2段階の基準が実施されました。当社は積極的に当規格への適合を進めていきます。

環境標語　エアコンを　弱めて気づく　四季の風

ナナオ製品の品質と環境への取り組み